

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

1月号

無料

2月25日発行(第29号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、恵庭市の小川里恵子さん(30)の作品です。幼稚園の頃からの夢、プロの絵描きになるために、OLをやめて勉強中だそうです。「絵は夜のほうがはかどるので、つい夢中になって夜更かししちゃうこともあるんですよえ」とのことでした。どうぞ身体に気をつけて、また素敵な作品を書いてくださいね。



特集

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問③

生まれたばかりの市民団体を育てるNPO

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問③

生まれたばかりの市民団体を育てるNPO

情熱に燃えた人たちが始めるNPO(非営利組織)ですが、初めから「会の運営」を得意とする人は多くありません。事務所がない、資金の集め方や会計、給料、保険の手続きがわからないなど、特に初めは「？」だらけです。活動にエネルギーを注ぐ前に、雑多なことで意気消沈してしまうこともあります。サンフランシスコにあるタイズセンターは、そんな生まれたばかりの団体が活動を進めながらノウハウを身に付けられるよう支援する、頼りになるNPOです。

タイズセンターの3つの機能

タイズセンターは元軍事基地だったサンフランシスコ湾沿いのプレシディオ公園の中にあり、市民団体がそれぞれの活動に専念できるような支援をしています。タイズセンターの名前を貸す「名義貸し支援」、事務所のない団体に間貸しする「事務所支援」、会計、税金事務、給与手続きなど面倒な事務作業を引き受けてくれる「事務請け負い支援」が主な働きです。

1) 名義貸し支援

生まれたばかりの市民団体は、体制を整えたり、活動を軌道に乗せることに全力を注ぐため、NPO法人化にまでなかなか手がまわりません。また、一回限りの催しを開く団体(〇〇実行委員会など)は法人化してもすぐ解散しなくてはなりません。そこでタイズセンターでは、そうした市民団体も税制優遇などのNPOの



18世紀にスペイン人が建てたため、白壁でスペイン風。歴史的建造物に指定されている。



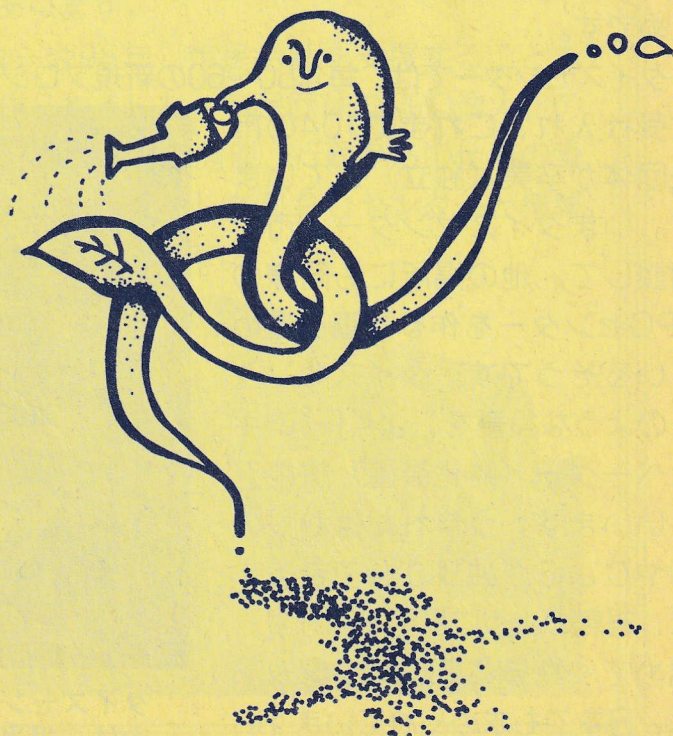
センターの中にはパスタやサンドイッチなどの軽食が食べられるカフェもある。団体同士の交流の場にもなっている。

からアドバイスを受けながら活動し、成長していきます。信用あるタイズセンターの名前によって、それぞれのプロジェクトが助成金を集めやすいメリットもあるそうです。

2) 事務所支援

タイズセンターは12の建物郡からなっていて、今は環境系を中心に45の市民団体が間借りして事務所を構えています。それぞれの団体にとって、共同事務所は、センターのスタッフや他の市民団体の人たちと日々顔を合わせて交流ができるメリットがあります。

また、サンフランシスコは不動産が高騰しています。タイズセンターのように、交通の便がよく、自然に囲まれた環境に割安で事務所を持てるのは市民団体にとって嬉しいことです。



特典を受けられるよう、『NPO法人格をもつタイズセンターのひとつのプロジェクト』と位置づける「名義貸し支援」をしています。

今この支援を受けているのは、シベリアの森を守るプロジェクト（実際は、これでひとつの市民団体）、売春問題を考えるプロジェクト、世界資源を考えるプロジェクトなど350あります。それぞれの団体は、運営、コミュニケーション、予算、スタッフ管理、財政に関して、センターのスタッフ

3) 事務請け負い支援

市民活動にはたくさんの書類仕事に伴います。そのためタイズセンターでは、会計、税金事務、給与手続きなど面倒な事務作業を請け負っています。費用は、その団体規模に応じて予算の6~9パーセント。こうした事務仕事は、お金を払って専門家に委託するのが一般的ですが、まとめてタイズセンターにやってもらうことでコストを削減できるそうです。このサービスは、大きくなった市民団体にとっても魅力があります。そのため、センターにずっととどまる場合もあるそうです。

センターができた経緯

タイズセンターは、タイズ財団(革新的なNPOにお金を助成している財団)が「NPOが集まれる場を作りたい」というアイデアを行政に提案したことから始まりました。軍事基地が94年に閉鎖されて跡地が国立公園になり、国立公園局が、陸軍病院だった建物の使いみちを公募していたときです。『資金を出さずに公園内の建物をきれいにし、有効活用してもらえる』という行政にとってのメリットと、『賃貸料をほとんど払わずに、環境のいいところで活動できる』というタイズ財団のメリットが一致し、センターは誕生しました。建物を国立公園局から50年という長期契約で借りられていることも、賃貸料が年間たった1ドル(100円強)ということも「NPOがさまざまな分野で活躍するのを市も期待している」(タイズ財団会長のドラモンドパイクさん)ためです。

タイズセンターでは、毎年50~60の新規プロジェクト(うまれたばかりの市民団体)を受け入れ、これまで104の市民団体が卒業(独立)しています。いまタイズセンターと市で相談して、他の場所にも同様のNPOセンターを作る計画を進めているそうです。タイズセンターのような役割を、よく「インキュベーター(孵化装置)機能」といいます。うまれたばかりの卵やひよこが独り立ちできるまで、親鳥のように風雪から守り、温めてくれるこうしたセンターは、日本でも求められています。



タイズセンターのスタッフは50人。そのうち18人は、担当の市民団体(プロジェクト)にアドバイスをする役目。

北海道NPOサポートセンター



平日10:00～17:00開館ですが、週末を含め、たいてい夜遅くまでどこかの団体が活動しています。

ボラナビ倶楽部の事務所が入っている「北海道NPOサポートセンター」も、タイズセンターと同様、事務所支援をしています。いま間借りしているのは15団体。環境、福祉、まちづくり系など分野はさ

まざまです。

ボラナビ倶楽部は、専用の机ひとつと書棚を借りていて、ひと月に賃貸料を1万円払っています。ボラナビスタッフがいないときに代わりに郵便を受け取ってもらったり、カギを持っていないスタッフが事務所に来ても入れたりするなど大助かりです。共用のFAX、コピー機、印刷機と、会議室（別室）があります。

北海道NPOサポートセンターは98年、市民活動を支援することを目的に、地域の人たちの手で作られました。市民団体のNPO法人化の手伝い、市民団体に有益なシンポジウムの開催、行政からの仕事の受託などを行っています。全国各地にあるこうしたNPOセンターと情報を交換したり、共に活動したりもしています。

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

北区北11条西4丁目1-29
TEL 011-716-3369
FAX 011-716-2899

E-mail
npo@mb.infosnow.ne.jp

URL
<http://www.infosnow.ne.jp/hashinet/>

地下鉄「北12条駅」から徒歩3分。
JR札幌駅から徒歩10分の好立地。





ボラナビでは、今、**3月号**に掲載する情報を集めています。**1月25日**までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

※春はボランティアさんが卒業・就職などで入れかわる時期です。この頃に合わせてボ集したい方も早目に！

イラスト：タケダミラ

2/6~12 雪まつり見物の介護ボランティア ボ集

●**内容**：ボランティアサークル「手と手」では、さっぽろ雪まつりの期間中、ご高齢の方や体の不自由な方と雪まつり見物を楽しんでくださるボランティアをボ集しています。雪道で車椅子を押していただく介助が中心です。期間中は大通6丁目にボランティアハウスとして本部を設置します。また、これに先立ちまして、車椅子の取り扱いなどの研修会&説明会を開催します。

●**日時**：平成13年2月6日（火）～12日（月）、本部は1日中運営していますが、ボランティアの活動は1日3～4時間、1日だけでも結構です。ご都合のよい日時をお願いいたします。

●**場所**：大通公園（さっぽろ雪まつり会場）

<研修会&説明会>

①日時：平成13年1月7日（日）10：00～15：00

場所：札幌市社会福祉総合センター視聴覚室（中央区大通西19丁目）

②日時：平成13年1月14日（日）10：00～15：00

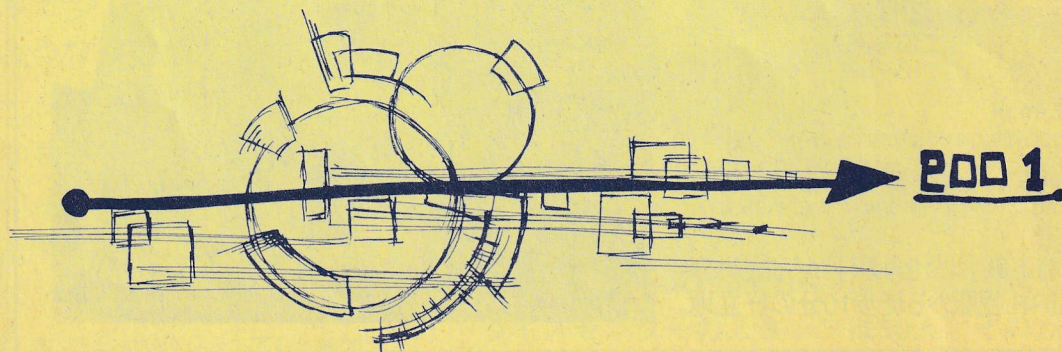
場所：かでる2・7 710会議室（中央区北2条西7丁目）

※ 同じ内容ですので、いずれかにご出席してください。

●**備考**：研修会&説明会当日は、地下鉄乗車実習のため、地下鉄一区间分の料金と、ボランティア保険300円が必要となります。雪の上で車椅子を押す実習もありますので、暖かく動きやすい服装でいらしてください。また、昼食をご持参ください。

●**連絡先**：ボランティアサークル「手と手」事務局 TEL/FAX 011-833-2098

E-Mail：tetote@catnip.freemail.ne.jp



常時

日常生活のお手伝いをしてくれる方 ボ集

●**内容**：斉藤マツヨさんというおばあさん（90才）の生活のお手伝いをしてくださる方をボ集しています。斉藤さんは、これまで障害をもった息子さんと二人暮らしをしていましたが、昨年息子さんに先立たれ、心細い思いをされています。斉藤さんは年齢の割にしっかりしているので、日常生活において介助の必要はありませんが、高齢のため、天候などによって体調が左右されやすく、一人で家にいるのは大変不安だとおっしゃっています。ボランティアの内容は、買い物や食事の支度が中心で、基本的には家にいていただけるだけで結構です。決して難しいものではありません。現在、大学生を中心に10数名がボランティアをしています、人数が不足しています。ご協力をお願いします。

●**日時**：① 17：00～21：00（買い物や食事の支度など）

② 21：00～翌朝10：00（泊まり当番）

※多少の調整は可能です。

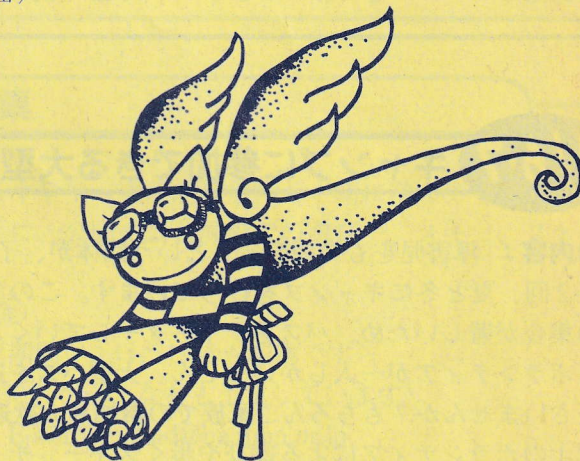
●**場所**：豊平区月寒東1条10丁目C-4-106

●**連絡先**：TEL011-853-4764

（斉藤、17：00～23：00）

携帯 090-713-80570（大江）

●**備考**：毎月1回「ボランティアの集い」と称してボランティアが集まる機会を設けています。気軽な集まりですので、興味のある方はまずこちらに参加してみるのもよいと思います。まずはご連絡ください。



常時

昼食作り・木工の指導・印刷物作成・子どもの遊び相手ボランティア ボ集

●**内容**：脳外傷友の会「コロボックル」は、4月に移ったばかりの場所から、さらに移転しました。今度は札幌ドームの近くで、作業場もドーンと広くなりました。そこで、ボランティアさんも大ボ集します。

① 作業所でお昼ご飯を作ってください方

② 工芸・手芸の指導をくださる方（特に木工の指導）。

③ 会報や印刷物の編集をお手伝いしてくださる方（POPやイラストが得意な方歓迎）

④ 一緒にスポーツを楽しんでくださる方

⑤ 子どもと遊んでくださる方

ご連絡お待ちしております。

●**日時**：①～④月～金曜日 10：00～16：00（①のみ14：00頃まで）

⑤月1回の日曜日

●**場所**：豊平区月寒東1条17丁目5-39 2F

●**連絡先**：コロボックル TEL 011-858-5600 FAX 011-858-5696（原田）

常時**視覚障害者の皆さん！一緒にXCスキーを楽しみませんか？**

●**内容**：視覚障害者とともに、年間を通してスポーツを楽しむクラブです。名前は「ラングラウフ・クラブ」といい、今年で活動15年目を迎えます。冬はXCスキー（森林浴をしながら進む、気持ちのよい歩行中心のもの）を楽しんでいて、毎年各種スキー大会に参加しています。新規会員とボランティアを募集していますので、興味のある方はぜひご連絡ください。

●**日時**：練習開始 平成13年1月6日（土）9：30～11：30、以降毎週土曜日に練習会を開催します。

●**場所**：滝野すずらん公園（南区滝野247）

●**連絡先**：ラングラウフ・クラブ TEL/FAX 011-685-4056（事業部長 小林保）

E-Mail：VEGO1656@nifty.ne.jp

●**備考**：クラブには予備のスキーがありませんので、スキーをお持ちでない方は、滝野すずらん公園でレンタルをお願いします（平成12年度は1日一式520円）。

1/6-7**キャンプに参加できる大型バスのドライバー ボ集**

●**内容**：「障害児をもつ親の会」という団体が、子どもたちにさまざまな体験をさせる目的で、年2回、夏と冬にキャンプを行っています。この冬は、洞爺湖キャンプ場で行います。個別での集合が難しいため、バスをチャーターしていくことになりましたが、大型バスの運転ができるボランティアが一人しかいません。大型バスを運転できる方、一緒にキャンプに参加してくださいませんか？もちろんご家族での参加も大歓迎。例年参加者は40名を数えていますが、保育士のボランティアによる遊びや歩くスキー、チューブ滑りなどの体験に、子どもたちが見せる笑顔は素晴らしいものがあります。思い出に残る1泊2日の旅になることをお約束します。

●**日時**：平成13年1月6日（土）、7日（日）

●**場所**：運転は札幌、洞爺湖間の往復（交代制）、宿泊は洞爺湖キャンプ村

●**連絡先**：ボランティア杜の家 TEL011-888-6670 FAX011-888-6678（保木本）

●**備考**：心苦しいのですが、参加費は実費でお願いいたします。

常時**自閉症の子どもの音楽療法ボランティア ボ集**

●**内容**：「おたまじゃくしの会」では、自閉症の子どもに対する音楽療法を行っています。そこで、子どものお世話をしてくださるボランティアをボ集します。音楽に関する知識はなくても大丈夫。子どもが好きで、自家用車で移動できる方ならどなたでも歓迎します。お礼として月3回で5500円程度の謝礼をお支払いします。

●**日時**：月3回土曜日、2時間程度

●**連絡先**：東区 金伍（きんご）うたげ TEL011-792-2780 携帯090-2690-0604

E-Mail：cbv70070@pop01.odn.ne.jp

ホームページ：http://www1.odn.ne.jp/~cee27430

●**備考**：詳細はお電話にてお伝えいたします。

常時**外国の文化・生活を教える外国人ボランティア ボ集**

●**内容**：千歳小学校の2年生では、国際理解教育の授業に協力して下さる外国の方を探しています。国際理解の授業を行うにあたり、子どもたちが机の上だけでなく、外国の方と直接ふれあい、お話を聞く機会が大切だと考えました。子どもたちに母国の生活や文化についてお話しいただき、一緒にになにか体験的な学習ができればと考えています。現在バングラデシュをテーマにした授業を予定しているため、バングラデシュの方がいらっしやると大変嬉しいです。もちろん、ほかの国の方も大歓迎です。千歳市または近郊にお住まいの方、ぜひご協力をお願いします。

●**連絡先**：千歳市立千歳小学校 TEL0123-23-2181（担当 山本）

E-Mail：chisyo@fancy.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.city.chitose.hokkaido.jp/eschitose/

1/9~12**子どもの遊び相手 ボ集**

●**内容**：知的、あるいは自閉的に障害のある中学生（東区北栄中）と一緒に遊んでくださる方をボ集しています。元気のよい中学生を相手に、公園や公共施設での遊びや、スキー、スケートなどを楽しんでくださいませんか？

●**日時**：平成13年1月9日（火）～12日（金）

午前 or 午後の3時間くらいを予定（期間中1日だけでも結構です）。

●**場所**：自宅近くの公園や公共施設（スキーやスケートなども予定しています）。

●**連絡先**：TEL/FAX 011-783-9887（安立） E-Mail：nadad@be.mbn.or.jp

●**備考**：交通費、寸志、必要経費はお支払いします。

常時**お弁当の宅配ボランティア ボ集**

●**内容**：ボランティアグループ「ニュートリケア」では、毎週土曜日と日曜日、お年寄りや障害を持っている方に、お弁当を作って宅配しています。そこで、自家用車を使ってお弁当を宅配してくれるボランティアさんを大ボ集。ご家族での参加も可能です。お子さんを車に乗せて、お年寄りや障害を持っている方とのふれあいの時間をつくるのもよいと思います。土日の活動なので、平日は仕事がある方でも大丈夫。月1回程度でもよいので、無理なく活動していただけたらと思います。また、調理を手伝ってくださる方も同時にボ集しています。ぜひよろしく願いいたします。

●**日時**：土曜日または日曜日（月1回程度でも結構です）

宅配は、昼食が11：00～12：00、夕食が15：30～16：30

調理はそれぞれ9：00～と13：00～。昼食、夕食のどちらでもかまいません。

●**宅配先**：東区内。1人5～8軒くらい宅配します。

●**調理場所・宅配ボランティア集合場所**：東区伏古8条2丁目2-4（片桐宅）

●**連絡先**：TEL/FAX 011-782-7756（片桐）

**1月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。**

常時**送迎サービスのドライバー ボ集**

●**内容**：身体にハンディキャップを持つ子どもの親たちの会「(社) 札幌肢体不自由児者父母の会」では、学校・病院・施設などへの送迎サービスを行っています。そこで、明るく体力に自信のあるドライバーさんをボ集めています。性別は問いません。年齢は60才まででお願いいたします。

●**日時**：月曜～土曜日 9：00～17：00（相談に応じます）

●**連絡先**：父母の会事務局（中央区北8条西23丁目2-22 イベール 823）

TEL011-622-5006 FAX011-622-8664

●**備考**：活動費と交通費を支給します。

常時**世界中の子どもたちへ届ける援助物資 ボ集**

●**内容**：大型客船で世界各地を訪れ、国際交流を続けている「ピースボート」では、平成13年の世界一周クルーズに向けて、援助物資をボ集めています。各地の学校や孤児院、ストリートチルドレンの施設などに、文房具やスポーツ用品などを届けるもので、現在、1月と5月に出港が決定しています。ぜひご協力ください。また、恐縮ですが、物資を送る際、一口1000円以上の募金をお願いできれば幸いです。

●**出港**：平成13年1月16日（火）、5月22日（火）。ピースボートの活動が続く限り物資はボ集しますので、特別締め切りはありません。

<ボ集物資> ・文房具、楽器

・スポーツ用品、ボール（特にサッカーボール）、グローブなど

・パソコン（詳しくは事務局までお問い合わせください）

・おもちゃ（電気、電池を使わないもの。戦争や兵器に関係しないもの）

・使用済みテレホンカード ・書き損じはがき

●**連絡先**：ピースボート東京事務局 UPA援助チーム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-14-3 八達ビル2F

TEL03-3363-7561 FAX03-3363-7562

●**連絡先**：ピースボートに関して札幌でも何かできることはないかと話し合っているところですので、この活動に興味を持たれた方は、携帯090-6217-2018（大野）までご連絡ください。

常時**一緒に陶芸をしてくれるボランティア ボ集**

●**内容**：知的障害者の更正施設「札幌光の森学園」では、このたび、古木を再利用した陶芸棟「光陶房」を作りました。学園内だけでなく、地域の人たちが気軽に陶芸を楽しめるコミュニケーションの場にしていきたいと思っています。そこで、施設の人たちや、地域の人たちが陶芸をする際のお手伝いをしてくれるボランティアさんをボ集します。施設にいるのは、ほとんどが自閉症の成人で、約70人です。現在、陶芸棟には主婦のボランティアが一人います。みんなで陶芸を楽しみながら、陶芸棟を運営していきませんか？

●**連絡先**：札幌光の森学園 事務長 杉澤秀子（中央区盤溪259-5）

TEL011-615-2401 FAX011-613-1409

●**日時**：応相談

常時**家で眠っている不要品 集**

●**内容**：「つばさの会共同作業所」では、精神や神経の病気をもつ仲間たちが、退院後、再出発に向けての一步を踏み出そうと、生活のリズムを整えながらさまざまな作業をおこなっています。箱作りや除雪など、いたって地味な作業が中心ですが、集まった不要品をフリーマーケットで販売することも時々行っています。そこで、もし家で眠っている不要品がありましたら、ぜひ提供していただけないでしょうか？衣類や雑貨、アクセサリなど、まだ使えるものでしたらなんでも結構です。ご連絡いただければ、こちらからうかがいます。どうぞよろしくお願いいたします。

●**連絡先**：北区北36条西3丁目2-5 サンパーク北36 102号 つばさの会共同作業所

TEL/FAX011-728-8540 (神永)

ホームページ：<http://www4.ocn.ne.jp/~sy828/index.htm>

(ホームページからのメール受信も可能です)

常時**悩んでいる方、産業カウンセラーが無料で相談に応じます**

●**内容**：(社)日本産業カウンセラー協会では、労働省から委託をうけて、さまざまな悩みをもつ勤労青少年に向けて、無料カウンセリング「ハートナビゲーション」を実施しています。相談の内容は、仕事、恋愛、結婚、人間関係のことなどなんでもOKです。これは単なる人生相談ではなく、カウンセラーは、共に考え、相談者が自分自身で決断をするためのお手伝いをします。身近に話せる人がいない、もしくは家族や友達には相談しづらいという悩みがある人は、ぜひ気軽にお電話ください。温かく、冷静な第三者との話のなかで、新しい道がきっとひらけるはずです。

●**日時**：毎週火曜日 18:30～21:30

●**場所**：札幌市中央勤労青少年ホーム＜Let's 中央＞(中央区南4条東4丁目)

●**連絡先**：TEL011-241-8439 FAX011-241-8745

●**備考**：ハートナビゲーションはすべて予約制。スタッフがお電話で予約を受け付けます。または申し込みシートをファックスで送ってもOK(シートに関しては一度電話でお問い合わせください)。その場合は、スケジュール調整後にご連絡します。

**☆
月の集い**

11月の集いでは、子供たちのために、暴力から自分を守る教育活動(CAPプログラム)を行っている「ネットワークCAPさっぽろ」の今川かおるさんにお話を伺いました。

CAPプログラムは、小学校や保育園などで、子どもたち、大人それぞれを対象に行うものです。知らない大人からの誘拐や子供同士のいじめ、性的暴力をテーマにした寸劇を見せながら、子供たちに、暴力からの具体的な逃げ方(声の出し方や護身術)、イヤと言ってよいこと、安心して自信をもって自由に生きることのできる「基本的人権」が子供にはあること、などを教えています。

こうしたプログラムはアメリカで開発され、いまでは12カ国で実施されているそうです。様々な危険に遭遇する場面を想定したり、子供自身が劇に参加することによって一緒に考えられるようにするなどの工夫がされています。

今川さんは、「小学校の1、2年生でも内容をきちんと理解できている。是非、学校の授業としてとりいれてほしい」とおっしゃっていました。また、他の地域の報告として、大人や親もこのプログラムを受けたおかげで子供たちを守る体制が整った例や、嫌なことは「嫌だ」と子供自身がはっきり言うだけでも、危険から回避できる効果があることなどを話してくださいました。

「ネットワークCAPさっぽろ」では、一緒に子供達の前で実演する仲間を募集しています。

問い合わせは、TEL/FAX 011-721-7834 またはE-mail cap.sapporo@clubaa.com にどうぞ。

常時**共同住居エルムで日常生活のお手伝いをしてくれる方 募集**

●**内容**：精神に障害を抱えた人の日常生活のお手伝いをしながら、一緒に過ごしてくれる方を募集しています。食事の世話や悩み事の相談、話し相手などが中心です。医療や福祉関係に携わったことのある方、精神保健ボランティアに興味や関心のある方を歓迎します。よろしくお願いいたします。

●**日時**：週3～5回、午後の数時間

●**場所**：中央区内（地下鉄「円山公園駅」から徒歩約10分）

●**連絡先**：旭山病院（中央区双子山4-3-33）TEL011-641-7755（担当 越田、鈴木、宮崎）

●**募集締切**：平成13年1月15日（火）

●**備考**：謝礼については委細面談。交通費・実費は支給します。希望される方は、履歴書と志望動機文（なぜやりたいのか、障害者に対してのボランティア経験があるかなど）、希望の曜日・時間をそえて郵送願います。おりかえし、面接日をご連絡いたします。詳細に関しては面接時にお知らせいたしますので、電話でのお問い合わせについてはご遠慮願います。

常時**CAP（子ども暴力防止プログラム）仲間 募集**

●**内容**：CAP（子ども暴力防止プログラム）では、子ども達が、自分自身をかけがえのない存在であると自覚し、自分の力でさまざまな暴力から身を守るための方法を伝える活動をしています。現在、スタッフを募集しています。一緒に寸劇をしてくださる方、子どもの保育をしてくださる方、CAP通信のワープロ打ちをしてくださる方、その他活動に興味のある方はぜひご連絡ください。よろしくお願いいたします。

●**日時**：月2回の定例会、その他ワークショップの依頼日など

●**場所**：市内の公共ホールなど。

※その都度変わるのでお問い合わせください。

●**連絡先**：CAP なかま TEL/FAX764-3764（大滝） ootaki@cc.mbn.or.jp



常時

～みんなの手で2001年のホワイトイルミネーションを太陽電池で灯そう!～ 一緒に活動してくれる仲間 大募集!

●**内容**：「ひまわりの種の会」では、2001年の冬、大通公園に灯るホワイトイルミネーションを、環境にやさしい太陽電池で灯すための活動を計画しています。太陽電池で灯ったイルミネーションを、みんなが環境へ目を向けるためのシンボリック的存在にしたいというのが企画の趣旨です。イルミネーションの後は、太陽電池パネルを大通公園のトイレに設置したいと考えています。そこで、実行委員としてプランを練ったり、一緒に活動してくれる仲間を大募集。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

●活動スケジュール

1月：実行委員募集、活動方針の取りまとめ（以降も、委員飛び入り歓迎）

2～5月：

- ① 活動資金の調達…企業・市民からの協賛、募金集め／助成金（機器・工事費、広報費など）の申請
- ② アウトライン作り…企業や札幌市、新聞、TV局への協賛依頼
- ③ 太陽電池のメーカー、販売の方々への呼びかけ

8・9月：内容、スケジュールの確定

10・11月：最終準備開始（ホワイトイルミネーションオープン!）

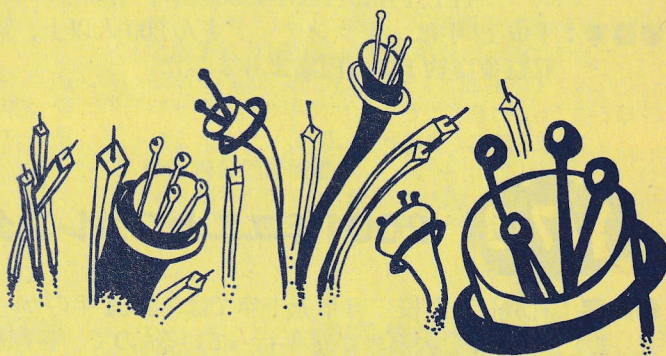
※ さまざまな企業・団体・市民の方へのご協力、活動の支援をお願いする予定です。

●お問い合わせ／連絡先：

ひまわりの種の会

（手稲区富丘6条7丁目6-28）新保

TEL/FAX 011-684-7651

**常時**

子どもたちと一緒に豊かな自然を体験しませんか？

●**内容**：支笏湖ユースホステルでは、月1～2回、子どもたちを対象に、自然体験を中心としたさまざまなプログラム（行事）を実施しています。これに参加して、お手伝いしていただけるボランティアさんを募集しています。子どもたちと一緒に、素晴らしい自然を体験しませんか？

●**日時**：第2・第4土曜から日曜を中心に実施、土曜16：00～日曜16：00頃までの1泊2日
 <プログラム内容（予定も含む）>

野外：25キロウォーク、カナディアンカヌー、軽登山、サイクリング、スノーシューハイキング、XCスキーなど

屋内：餅つき、手打ちうどん、ストーンペインティング、木の葉と枝を使ったクラフトなど

●**連絡先**：支笏湖ユースホステル TEL0123-25-2311 FAX0123-25-2312 白石一人

E-mail: shikotsuko@jyh.gr.jp

●**備考**：性別・経験は問いません。現在は高校生から25才くらいまでの若い方で、子どもと自然が大好きな方を募集しています。何回かお手伝いして下さった方には、一緒に企画も考えていただきたいと思います。

1/4~6

2001年カレンダーリサイクル市&環境パネル展 イベントボラ 募集

●**内容**：北海道 NGO グローバルトレインでは、カレンダーのリサイクルを通して、森林資源の活用とマングローブ植林運動などに協力しています。その活動の様子を伝えるパネル展と、活動に賛同する人たちから寄贈されたカレンダーのリサイクル市を行います。そこで、イベントのお手伝いをしていただけるボランティアさんを大募集。作業内容は、カレンダーの仕分けと販売です。エプロンと薄手の手袋か軍手を各自で用意してください。ボランティアができない方も、ぜひカレンダーを買いにいらしてください。価格は一部 100 円～ 500 円です。どうぞよろしくお願いします。

●**日時**：1月4日（木）、5日（金）、6日（土） 10：00～18：00（各ボランティアさんの都合のよい時間で結構です。それぞれ 30～40 人程度、手伝っていただけると助かります）

●**場所**：①かでの 2・7 ボランティアセンター（中央区北 2 条西 7 丁目）
②札幌 MN ビル 国際プラザ内 エキシビジョンホール（中央区北 1 条西 3 丁目）
※時計台西向かい

●**問い合わせ先**：菅原邦治（白石区栄通 17 丁目 スリランカカリーの店 ポレポレ）
TEL/FAX011-851-0086（水・木以外の 18：00～20：00）

●**備考**：平成 12 年は、ボランティアさん 200 人以上、買い物客 3000 人、
収益金は約 133 万円集まりました。

1/7・8

2001年ユニセフカレンダー募金のご案内

●**内容**：札幌日大高校 青年赤十字では、2001 年のカレンダー、ダイアリー、手帳、日めくりなどを販売します。これは日大高校が毎年行っているもので、各家庭や企業から使用しないカレンダーを提供していただいて販売しています。売上金はユニセフ、もしくは生協の海外支援基金に寄付しています。価格は 1 本 100 円から、数は豊富に取り揃えています。ぜひいらしてください。

●**日時**：1月7日（日）、8日（月）10：00～17：00

●**場所**：コープさっぽろルミネ平岡店（清田区平岡公園東 3-1-5 TEL011-885-3539）

●**問い合わせ先**：札幌日本大学高等学校（北広島市西の里 565-2）JRC 顧問 菅井一志
TEL 011-375-2611 E-mail：hokuryu@peach.plala.or.jp

1/27

教師と市民のためのボランティア学習セミナー

●**内容**：ボランティア学習を拓く会では、ボランティア学習に興味・関心のある市民や学生・教師の皆さんを対象に、「第 4 回教師と市民のためのボランティア学習セミナー」を開きます。テーマは、「開幕! 21 世紀! 今、ともに踏みだそうボランティア学習のスタートライン!」です。企画は、公開ディベート「奉仕活動の義務化! 是か否か!」、パネルディスカッション「今、教育現場へもの申す! ～ボランティア学習への熱いメッセージ～」、ブレインストーミング「みんなで語ろう! ボランティア学習」ほかを予定しています。参加料 500 円、参加申し込みは、1 月 24 日（水）までをお願いします。

●**日時**：平成 13 年 1 月 27 日（土）10:00～16:00

●**場所**：かでの 2・7 550 研修室（中央区北 2 条西 7 丁目）

●**問い合わせ先・連絡先**：ボランティア学習を拓く会 事務局 設楽正敏
E-mail shitara@par.odn.ne.jp TEL011-386-1833

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタム・東苗穂、月寒中央)、マックスバリュ・厚別

●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y 遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J T インフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

1月のボラナビの集い

1/17 (水) 18:30~20:30
初心者歓迎!

ゲストスピーカーは、9ページに掲載されているボランティアグループ ニュートリケアーさんです。お楽しみに!

予定 **2月は16日(金) 18:30~20:30**
3月は10日(土) 13:30~15:30

場所: 環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階 TEL011-707-9025

会費: 300円。

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

現在ボラナビでは「ボラナビの集い」を運営してくれるスタッフ大募集です!

私は現在大学4年で、もうひとりの学生スタッフ(その子も4年)とともにボラナビの集いの企画・運営を担当してきました。でも私たちが卒業してしまうと、集いに携わるスタッフがなくなってしまいます。現在新しいスタッフを探しているのですが、なかなか見つからなくて困っています。

ということで、興味を持たれた方はぜひ一度ボラナビの集いに来てみてください! (青木 梢)



読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数、できれば購読期限がきた時の連絡のためのFAXかメールアドレスをお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6か月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12号は品切れしてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

ボラナビでは広告掲載を始めました。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます! 掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛して下さった方々 (アイウ順)

- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- ・ NPO 越智基金 様
- ・ 北区まちづくり活動コンテスト 様
- ・ 札幌光星学園 様
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 札幌ボブラライオンズクラブ 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 菅原 祐雄 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・ 北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ マイクロソフト株式会社 様
- ・ 真屋幹雄 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかなっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめた振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/~volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899 (電話はかかりません)

■発行日:2000年12月25日

■定価:無料

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社